

授業科目	日本語表現法				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	CH10507J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	戸田 由美							
授業概要	<p>1、自分の気持ちを素直に表現できるように 2、早く上手にまとめられるように 3、自分の考えをうまく話せるように</p> <p>以上1~3がうまくできるための、コツをお教えいたします。 コツを修得すれば、必ず上手になります。 その対策として、15回の講義を系統立てて学習していきます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1、ことばの大切さを自覚し、日本語をとおして日本文化についても認識を深めることができる。 2、コミュニケーションが円滑になり、視野が広がり、ものの見方に幅ができる。 3、＜読む・聴く・書く・話す＞能力が向上し、文章の書き方、話し方等々の基礎を習得することができる。 4、磨きのかかった表現を物にして、魅力的な女性へと変身することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	20	30	100	
知識・理解 (DP1-1)			50		20	30	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			50		20	30	100	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
＜読む・聴く・話す・書く＞という全ての分野において、縦横無尽に表現できるようになること。				正しい日本語を用いて自分自身の考えをまとめる力があること。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	日本語と＜お米＞の関係について——なぜ、日本語というものが生まれたのか。			講義		復習しておくこと		20

2	「普通の文の書き方」について——(1) 簡単そうで難しい「具体的」について事例を挙げながら検討する。	講義	復習しておくこと	20
3	「普通の文の書き方」について——(2) 文のねじれ・語順・句読点・文章の組み立てなどを考察しながら、わかりやすい表現を習得する。	講義	復習しておくこと	20
4	「からだことば」とは？ ころとことばのつながりや、面白い表現について考えてみると…驚きの答えがまっている。	講義	あらかじめ自身のことをも含めて考えておく	30
5	語彙について 生活に根ざしたことばや気持ちを表すことばを分析分類し、ことばの微妙なニュアンスを学ぶ。	講義	復習しておくこと	30
6	「就職のための小論文の書き方のコツ」(1) ジャンル別にテーマを定めて、論ずるための構成法を習得する。	講義	復習しておくこと	30
7	「就職のための小論文の書き方のコツ」(2) 同上に加えて、論文と作文との相違を考え、実際に書いてみる。	講義	復習しておくこと	30
8	あなたは敬語に自信がありますか？(1) 間違いやすい敬語の例をあげ、訂正検討する。	講義	復習しておくこと	30
9	あなたは敬語に自信がありますか？(2) 間違いやすい敬語の例をあげ、訂正解説する。 さらに、敬語が日本に発生した歴史的ルーツを説く。	講義	復習しておくこと	30
10	若者ことば・接客ことば・間違いやすい日本語表現について—— 時代とともに変化している言葉遣いの乱れや誤りを掲げながら美しい表現を追及する。	講義	日頃、間違いやすい言葉の使い方や、迷っていることについてあらかじめ考えておくこと	20
11	会話の達人になるには(1) あらかじめテーマを定めて、グループ討議をした内容を代表者がスピーチする。その際、まとめたメモも提出し、後、注意事項を話し合う。	講義	復習練習をしておくこと	20
12	会話の達人になるには(2) 同上に加えてスピーチコンテストを展開し、人前で話すことの重要性を多角的な面から考察する。	講義	復習練習をしておくこと	20
13	履歴書の書き方をまなぶ。 自分自身をどの様にPRするのか、 アピールの仕方を研究する。	講義	復習練習をしておくこと	30
14	手紙を書こう 実際に手紙を書いてみる。そして手紙の形式に表れている日本人のところにふれてみよう。	講義	日頃も、なるべくはがきや手紙を書くように努力しよう	30
15	まとめ 今までの講義を振り返り、重要ポイントを復習しながら、総括的に考える。	講義	今までの講義を思い返して、 問題点を再度考えること	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	わからない言葉にであってときには、かならず辞書でしらべてみましょう。 活字に親しむことが一番です。			
テキスト	使用しません。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中、必要に応じてプリントを配布いたします。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義中理解できなかったところは、必ず、質問してください。			
達成度評価に関するコメント	最後に提出していただくレポート、その他、講義中の態度等の総合点によって成績をつけますので、まずは、無遅刻、無欠席であることが要となります。「その他」では、授業への積極的な受講態度を評価します。			